

みんなのひろば

Message



市民と編集担当者のおしゃべりコーナー「みんなのひろば」。
たくさんの方からのお便りに感謝しながら、楽しく拝見させていただいています。

より親しみやすい広報紙をめざして、みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。

▼いつもクロスワードパズルを楽しみにしています。クイズをしながらいろんな事を知れるのでとても良いと思います。

(10代)

▼ご好評ながらもみなさんの頭を悩ませているクロスワードパズルですが、担当スタッフによると「タテのカギ、ヨコのカギを考えると、やさしすぎず難しすぎずに加えて、おもわず「へえ〜なるほど〜」と思える問題づくりに心がけています」とのこと。楽しみながら学べるクロスワードパズルに今後ともご期待ください！

▼いつも淡路市人権広報紙まるごとじんけん読ませていただいています。わんぼいんと手話とみんなのひろばを楽しみにしています。会社へ行っていた頃は、月に1回手話の人が来てくれて覚えていたのですが、今は遠のいて、わんぼいんと手話を見ると「あ、そうだったんだなあ」と思い出しています。これからも楽しみに拝読していきたいと思えます。(年齢不詳)

(60代)

▼「人権」に関する様々な取組みが行われていることが広報紙により知ることが出来ます。学校紹介も楽しみにしています。取組により人権意識の高まりや成果が伝わる内容になると、もったいいなと思えます。

▼「人権」に関する様々な取組みが行われていることが広報紙により知ることが出来ます。学校紹介も楽しみにしています。取組により人権意識の高まりや成果が伝わる内容になると、もったいいなと思えます。

《メッセージをお寄せください》

クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお知らせください。
TEL 0799-64-2567
FAX 0799-64-2528
Eメール: awaji_jinken@city.awaji.lg.jp

くらしのトピックス⑳ 淡路市社会福祉協議会

シリーズ④

「ひきこもり」を考える

前号でお知らせした、視察研修の話をもう少し…。

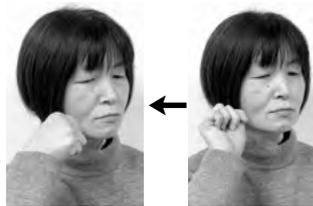
視察先は秋田県北部の藤里町社会福祉協議会でした(昨年12月に本市で開催された「人権を考える集い」でも記念講演をいただきました)。取組を始めた当初の藤里町では、人口約3,800人の内、「ひきこもり(状態にある人)」の人が113人おりましたが、「ひきこもり」の支援を10年続けることで、「ひきこもり」の人が町からいなくなつたとのことでした。

その取組の中心となつたのは「情報提供」と「活動の場づくり」の2つ。情報提供では、「家族等から就職活動を含めた情報を本人に届けることに重きを置いた。家族の不安等を本人に話すことは逆効果になることが多かった。」との説明を受けました。活動の場づくりでは、地域の特産物を使った商品の開発や、地域食堂等の取組への参加等を通じて、徐々に適性を見いだし、就職につながる支援を行なつていくとのことでした。(次号につづく)

ぼいん手話!! 第48回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介します。

「難しい・できない」



右手の親指と人差し指で頬をつねるようにひねる。

ろうあ者の

日常生活を知ろう⑳

今年はおリンピック・パラリンピックが東京で開催されますが、「ろう者」のためのオリンピックとして「デフリンピック」があります。「デフ(Deaf)」は「ろう者」の意味です。オリンピックと同じく4年に一度の開催で、前回は2017年にトルコで、次回は2021年にブラジルで開催されます。参加する選手は国際手話を使ってコミュニケーションをとります。

協力：淡路聴力障害者協会
手話サークル津名